

## 毛萱資源保全隊〔角田市〕

地区概要	取組面積：174.1ha（田167.5ha、畑6.6ha） 資源量：水路 13.6km 農道 3.9km ため池 2箇所
令和5年度交付金	農地維持支払交付金 5,156千円 資源向上支払（共同活動）交付金 3,084千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 -千円
地域の概要	本地域は角田市の北西部に位置し、平野部はほ場整備により30a～1haに整備された水田地帯で、山間部は未整備地で狭小の農地や荒廃した農地が点在する地域です。 行政区は西根11区～13区の3行政区が一体となり「毛萱地区」として活動しています。少子高齢化問題が深刻化しており、共同作業のあり方などを検討しております。
取組みの概要	保全隊は農家と非農家（土地持ち含む）及び認定農業者などで活動を行っています。 農地維持活動では、農地・農道・水路・ため池等の点検・機能診断を実施し、計画をたてながら各施設の草刈りや江払いなどを実施しております。 資源向上活動では、「角田市一斉のクリーン作戦」によるゴミ拾い、行政区単位での植栽活動による「角田市花壇コンクール」への参加、遊休農地の管理、外来種駆除、農道の支障木伐採、簡易な地域住民による直営施工（水路装工等）などを実施しております。
取組みによる効果	共同作業による草刈りや江払い、植栽活動やクリーン作戦などにより、地域住民老若男女を問わず活動を行うことで、以前にも増してコミュニケーションが図られ、地域の結束が高まってきております。景観形成のための植栽活動、クリーン作戦、遊休農地の管理、農道の支障木伐採などにより、地域の景観が維持され良好な農村の景観が保たれています。この活動を継続するために、保全隊役員を中心に地域内での話し合いも進めております。
今後の課題	当地域も少子高齢化の問題が顕著になっており、特に、共同作業などへの参加者が年々減ってきており、参加者への負担が重くなり活動時間も長くなるなど、今後の対策に苦慮している状況です。今後は、担い手などによる機械作業が増し、将来的には外部委託又は行政にお願いするなどの検討も必要になってくると思います。
その他	可能であれば保全隊として、例えばトラクターモア・バックホウ・ウッドチップパーなど大型器械の購入（分割払い）が出来れば、活動の継続も可能ではないかと思っております。 当地区の植栽活動用の苗は、花の会のハウスを利用し、種を蒔いてポットに移植し、自ら育てて移植しています。当地区の花壇は角田市の「モデル花壇」に指定され、沿道を行き交う人々の憩いの場となっております。 地域住民による簡易な直営施工により、小水路の装工、水路わきのネットフェンスの改良、地域内の電気柵・ワイヤーメッシュ補修などを行っております。



花の会ハウスでの種蒔作業



植栽花壇での花芽取り、草取り作業



夏祭りを通じた地域住民との交流活動



バックホウによる江払い作業



ネットフェンスの改良作業



地域住民による水路装甲作業